

研究だより

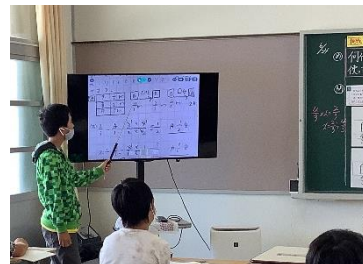
1 第3回 研究授業より学んだこと

（令和4年6月24日（金）6校時 第6学年「分数÷分数」 授業者 木下 真弥 教諭）

【協議会より】

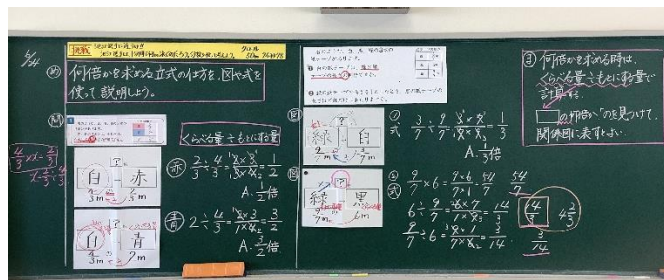
①子どもの問いを生かす手立てについて

- ・先生の温かい雰囲気が子どものやる気を引き出している。
- ・予習をすることで課題意識をもたせることができている。
- ・関係図の場面では、「～の何倍」を意識させて、まとめまで授業を進めていた。教師が分からせる発問に努めていた。
- ・適用問題では、なぜその式にしたのか子どもに問い返しても良かった。



②タブレットを活用した児童同士の意見交流を深める学習展開について

- ・板書が構造的で素晴らしい。
- ・タブレットとノートの使い分けがうまくできている。
- ・ \times 、 \div の入った関係図が板書にあったり、ヒントカードがあれば、理解の難しい児童の助けになったのでは。



【指導助言】（山田校長先生）

- ・6年生はいつも落ち着いて学んでいる。日頃からやるべきことを確実にやり、力を付けている。
- ・いろいろな個性の子どもがいるが、先生が上手に子どものよさを生かして授業をつくっている。
- ・予習のノートをタブレットで取り、提出させる方法がよい。他の子どもの予習の状況が分かる。全員予習で考えてきているから、適応問題までたどり着くことができた。
- ・最初の問題では関係図が分かっていたのに、適用問題でつまづいた児童がいた。題意が読み取れていなかったことが原因と考えられる。「もとになる数を1と考えること」をしつかりおさえておくとうよかった。また、数を簡単な整数に置き換えて関係図の意味を理解させる方法もあった。
- ・3分の4を1として考えると言うことは、3分の4を3分の4で割るということ…こういう説明をどのように練り上げていくか。子ども同士の意見交流の場が必要である。説明が上手な子どももいるので、みんなが言えるようになればよい。
- ・学校の課題として、子どもにしっかり話をさせ、教師の話す時間を短くしたい。
- ・今日、3校時に洋楽鑑賞会があった。感想を述べる場面で、進んで自分の思いを述べられる子どもがいた。このような児童を日頃の授業で育てたい。友達の見解を聞いて自分の考えを再構築できるような力を付けていきたい。

2 今後の予定

（令和4年6月29日（火）6校時 第3学年「表とグラフ」 授業者 名賀 春佳 教諭）